



# 東京全労協

2012年8月20日 48  
東京都港区新橋6-7-1  
川口ビル6F  
TEL. 03-5403-1650  
FAX. 03-5403-1653  
発行人 纈纈 朗  
定価 1部 10円

## オスプレイ、岩国強行陸揚げ糾弾！ 普天間配備を阻止しよう！

### オスプレイ・沖縄闘争、 7・21横田基地ツアー報告

東京全労協は、反戦・反基地闘争の具体的行動として、毎年の沖縄平和行進に参加しています。  
沖縄が「基地の島」であることを実感し、さらなる軍事基地化へともくろむ日米両政府を許さない、沖縄県民の怒りを肌で感じ取ってくる行動となつていきます。  
野田政権は軍備縮小を願う沖縄県民を無視し「日米同盟深化」で軍備増強に突き進み、辺野古や高江の新基地建設に加担しています。そして、普天間基地を閉鎖どころか固定化に繋がるオスプレイの配備を容認したのです。  
オスプレイは墜落事故が多発している欠陥機で世界一危険な航空機と言われている。それを世界一危険な普天間基地に配備するなど言語道断で沖縄県民の怒りは爆発しています。



隣接する場所で基地についての説明を受けた

東京の地で沖縄連帯、「米軍横田基地ツアー・学習会」開催！  
今回、沖縄反基地闘争の

連帯強化として、この東京の地の「米軍横田基地」に対する取り組みを行っていくこととしました。東京労組と共に7月21日(土)に「横田基地ツアー・学習会」

を42人の参加で開催しました。最初に砂川テント村に行き、立川基地の現状を砂川の闘争の歴史を振り返りながら説明を受けました。次に横田基地をほぼ一周回り説明を受けました。その中で、五日市街道は基地拡張のため



基地近くの会議室で学習会を行った

「横田基地ツアー・学習会」を42人の参加で開催しました。最初に砂川テント村に行き、立川基地の現状を砂川の闘争の歴史を振り返りながら説明を受けました。次に横田基地をほぼ一周回り説明を受けました。その中で、五日市街道は基地拡張のため

め迂回ルートになった。住民に知らざれることなく普天間配備の戦闘機が飛来してくる。「トモダチ作戦」の司令部が設置された。基地の周りには住宅地が増えている。など現状を確認してきました。

最後に横田騒音訴訟団事務局長から取り組みの報告と「第9次横田基地公害訴訟」について話を聞きました。東京全労協は、日米安保粉砕、日米地位協定反対を掲げ沖縄県民と連帯するために9月9日の10万人沖縄県民大会(宜野湾市)に参加し、首都圏での集会に全力で取り組んでいきます。

横田基地は、一時期、首都にある象徴的な役割がなくなり、軍事上の役割を疑問視された時期もありました。しかし、東日本大震災を期に、いまや日米両軍一体化の中核基地へと変貌しつつあります。

こうした米軍の「やりた放題」を放置させているのが日米安保・地位協定であり、オスプレイを岩国に陸揚げし、普天間基地配備を強行しようとしているのです。



8.5オスプレイ配備反対を訴えた集会とデモ行進

## 核なき社会実現を 原水禁福島大会に参加して

東日本大震災の津波による東京電力福島第一原発事故を受けて、初めて開催された昨年(2011年)に続き2回目となる原水禁世界大会・福島大会が7月28日、13時から福島市教育会館で開催され、全国各地から約1050人が参加しました。東京全労協も昨年に引き続き4名参加しました。  
東日本大震災と広島、長崎の原爆の犠牲者に全員で黙とうをささげた後、川野浩一原水禁議長より、「二度と悲惨な原発事故が起きないように全ての原発停止を求め」と主催者あいさつを受け、五十嵐史郎豊平和フौरム代表からは、「原発事故がいかに過酷で無残なものか訴え続けたい」と強調されました。

東電柏崎刈羽原発を担当した後藤政志さんから、原発事故の現状と課題について講演が行われ、福島第一原発4号機からの燃料取り出しは「強い放射線や熱を出す使用済み燃料は未使用燃料ほど簡単な作業ではなく、数年から10数年の時間が必要だ」との見解が示されました。核のない社会の実現とエネルギー政策の転換を求め



2012年7月28日福島市で開催された原水禁福島大会

# 7.16 さよなら原発

## 1千万人アクション 17万人が結集!

東京電力福島第一原発事故は原因究明が依然として明確になっておらず、しかも今も尚、危険な放射能をまきちらし、福島県民のみならず国民が原発の恐ろしさ怯えています。それにも拘わらず首相・野田は電力業界・経済界の意向を優先し、関西電力大飯原発3号機に続き4号機でも再稼働を決めました。首相・野田が原発再稼働に前のめりになっている中で、かね

てから、作家の大江健三郎さん、ルポライターの鎌田慧さんらが呼びかけ、準備を進めてきた「さよなら原発10万人集会」が7月16日、代々木公園で開催されました。当日は猛烈な暑さにも拘わらず、高齢者や親子連れ、働き盛りの若者達で会場およびその周辺は人、人で埋め尽くされました。主催者発表で17万人という最大規模の結集です。集会では、大江さん、鎌田さん、

音楽家の坂本さん等が素晴らしい発言をしたようでしたが、残念ながら私達労働組合の部隊の指定場所はメイン会場とは大分離れた第二会場であったことから人物はおるか音声も全く聞こえませんでした。主催者には今後の改善が望まれる点でした。

集会は13時半から始まり、集会途中から3コースに分れてパレードを行い、東京全労協は大阪全労協とともに渋谷・恵比寿コースを進行し16時半頃に到着点に着きました。沿道では拍手や手を振ってくれる人々が数多くいて、「反原発」が市民の中に浸透していることを実感しました。後日談になりませんが、日本映画の字幕作者、永井荷風の翻訳者でも知られる仏人のカトイーヌ・カドーさんは、その功績を讃え日本外務省から「大臣賞」授与の打診を受けましたが、彼女は「今の内閣からは受け取れない」ときっぱり拒否し、「それが16日のさよなら原発集会への連帯です」とのメッセージを日本の友人に送ったそうです(東京新聞・本音のコラム、鎌田慧執筆より)。胸のすくような話です。最後に紹介します。



さよなら原発10万人集会、全労協の隊列は恵比寿コースを行進した

### 郵政産業労働者ユニオン結成

7月22日、郵政産業労働組合と郵政労働者ユニオン両東京地本は、郵政産業労働者ユニオン(PIU)を



一を知らせる宣伝ビラの配布を各支店で開始。また、7月29日の脱原発国会包囲の行動には新しい旗のもと参加しました。

東京地本結成大会を開催し、組織統一をおこないました。新中央本部の須藤書記長、東京地評の伊藤議長、東京全労協の額田議長が来賓として激励のあいさつに駆けつけていただきました。そして、闘う方針と鶴島委員長(芝支店)をはじめとする執行部体制を確立、あらたに団結して闘う船出を確認しました。既に、統



### 脱原発社会をめざす 8・12労働者集会に1260名が参加!

私たちの前には、年収200万円以下で不安定な状態で働く非正規社員の存在、65歳雇止め、6協定違反が生じるほどの労働力不足、差別を拡大助長する「新人事・給与制度」、「自爆営業」の横行等々、課題は山積

### 北部労協の活動報告

新しい東京地本は、労使協調をひた走るJP労組に変わるあたりまえの労働組合としてこれらの課題にひとつひとつ取り組んでいきます。そして、東京総行動をはじめとする闘う仲間との連帯をより強めていきます。東京全労協の仲間のみならず、新しい郵政産業労働者ユニオン東京地本に対する支援、協力を心からお願ひします。(郵政産業労働者ユニオン東京地本書記長 石川喜久)

東京北部地域には、練馬区に陸上自衛隊朝霞駐屯地(練馬区大泉学園町)、同練馬駐屯地(練馬区北町)及び十条駐屯地(北区十条台)が存在し、毎年「駐屯地撤去」を求め集会和地域デモを労働者・市民と共に闘っています。

さる、7月16日、20日にかけて、自衛隊統合幕僚本部より、首都直下型地震が発生したことを想定して「自衛隊統合防災演習」が強行されました。参加人員は約5千人で、東日本大震災後の大規模演習(治安出動訓練)としては初めてです。16日から17日にかけて、練馬駐屯地の陸上自衛隊普通科連隊が、都内全域の市街地で「災害対処」を名目にして治安訓練を強行しま

した。迷彩服とヘルメットで身を固めた300名もの戦闘部隊が夜間、集団で都区内を偵察・情報収集をし、練馬駐屯地との情報伝達訓練を行ったのです。私たちは16日午後6時より8時半頃まで、練馬駐屯地から都内各区役所に徒歩で向かう自衛隊(各班8名)の隊列に向けて、駐屯地前で都内各地から結集した仲間約60名と共に「自衛隊の市街地訓練やめろ! 治安出動訓練反対!」のシュプレヒコールを迷彩服姿の自衛隊員にぶつけました。今回の訓練は自治体の要請によるものではなく、自衛隊が独自で展開する自主派遣訓練とされています。このようなことが許されるなら、市街地を自衛隊が戦闘服姿で闊歩し放題ということになり、市民生活を脅かすこととなります。さらに、自衛隊の情報収集は被害状況の調査に留まらず、住民の動向、労働組合や市民団体など動向も情報収集の対象としています。こうした訓練内容はそのまま治安出動、「大規模テロ」対策として部隊出動に使えるものであり、「災害派遣」は名目にすぎません。私たちは今後も自衛隊の動向を注視し、沖縄の基地撤去、オスプレイ配備阻止の闘いと連帯し、「治安管理強化」を許さず全都の仲間と共に闘います。東水労北部地協 芝崎真吾